

第1回太田市ごみ減量市民会議 議事録

○日 時

平成25年 9月24日(火) 13時30分～16時

○場 所

太田市役所 3F 大会議室

1. 開 会

2. 委嘱状交付

市長より各委員へ委嘱状の交付

3. あいさつ(太田市長 清水 聖義)

4. 自己紹介

5. 報 告

各委員へ「太田市ごみ減量市民会議設置要綱」を説明、質疑を経たのち決定事項として以下の2項目が決まる。

①会議の傍聴は可能とする。

②会議結果を議事録として太田市のHP等に掲載する。

※決定後、傍聴希望者1名(県外居住者)入場し、傍聴。

6. 協 議

(1) 役員選出

会 長 高橋 輝明(太田市区長会会長)

副会長 岩崎 昭之(太田地球環境を守る会)

(2) 太田市ごみ減量会議の今後の日程について

平成25年9月～平成26年3月まで月1回程度会議を開催し、最後にまとめた内容を提言書として市長へ提出する。

(3) 太田市ごみ処理行政の現状について

リサイクル推進課・清掃施設管理課・清掃施設準備室・リサイクルプラザより現状の業務内容と過去3年間程度のごみの排出量について各委員へ説明。

(4) 今後のごみ減量市民会議について

各委員よりごみ減量についてや事務局に対して意見を述べてもらった。

内容は以下の通り

- 委員 ルール通り出ないごみが多く、各地区の役員等が疲れきっている。
- 委員 新炉建設には、安心・安全を心掛けておこなってもらいたい。
- 委員 今出ているごみの組成分析をお願いしたい。ごみの中に資源化できるものがなければごみの減量はできないと思う。
- 委員 市民が減量に心がけていても事業者が黄色い指定袋で事業系ごみをステーションに出すところを見かけた。そういった積み重ねで家庭系ごみの排出量が増えている可能性があるため、事業系ごみの収集システムについて教えてほしい。
- 委員 可燃ごみステーションが多すぎて、車等でどこにでも出せてしまうため、ステーションの維持・管理が不明確になっている。ごみステーションは、要綱等にある通り、ごみを出すための引き渡し場所であり、各家庭から出されているごみを市が責任を持って回収する蓄積場所である。指定ごみ袋で出せば市は責任を持って片付けるルールがあるが、ステーションの管理責任はどこにあるのかが不明確になっているためそれについても教えてほしい
- 委員 ミックスペーパー（雑がみ）等が現在ごみで出されているケースが多いため、ごみの中身のチェックをしてもらいたい。
- 委員 地元住民等の協力もあり、ごみステーションは、昔に比べたら良くなっていると思うが、相変わらず不法投棄が多い。それについては、清掃センターと協力して今後も取り組んでいきたい。
- 委員 全体的に見るとごみ処理等はスムーズにしていると思うが、ごみの分別等については、徹底しているようで徹底されていないと思う。ごみの分別について、これからしっかりやっていかないとだめだと思う。
- 委員 私は、しっかり分別等に心がけており、二人家族でごみは一週間に1回だけである。
しかし、お店等が過包装であったり、今のごみの分別項目以上にごみの種類が多くなっている。例えば、ペットボトルの蓋やワインのコルクはどうすれば良いかわからない。ごみ減量には、各家庭のごみの出し方の意識改革が必要である。

- 委員 区長さん等が中心となり地域住民等を集めて「ごみの分別等」の講座を開いた方がよい。また、レストラン等が出る残飯の処理もどうなっているか知りたい。これからこの会議で議論していきたいと考えている。
- 委員 市民のどれだけの人が環境基本計画を見ているのか？市民一人一人がごみについての意識を持たないとごみは減らないと思う。年に1回・2回は、クリーン作戦みたいなごみについての意識を持たせる行動をとるべきである。それと数値ばかり追うのではなくやれることからやるべきである。その方法の一つとしては「生ごみのたい肥化」が必要である。これを広めていきたい。
- 委員 生ごみは、昔は、家畜の餌になったり、田畑に埋めていた。今は、ごみとして燃やしているが、生ごみは燃やすものではないという意識を市民に持たせる事が大事である。例えば太田市内のどこかの地区をモデル地区として「生ごみのたい肥化」を進めることが良いと思う。
もう一つは、衣類を現在、燃えるごみとしているが、その衣類をリサイクルすべきである。
その2つがクリアできれば、ごみが少しでも減ると思う。
- 委員 私の事業所では、ごみは、17の分別を行っている。
雑芥（これ以上分別ができないもの）以外は、ごみに出さないで資源化しているため、リサイクル率は62%になっている。「できる限りごみを出さない」という考え方を市のごみ減量施策にいかしていければ良いと考えます。
- 委員 分別できてないステーションは特定の場所なので、まずはそこを啓もうしていけば良くなっていくのではないかと。
ごみの分別・減量を厳しくすればするほど、適当に出す人もいるので、分からない人もいることを考えながら、ごみの分別・減量をおこなっていけば良いと思う。
また、他市の例を参考に考えていくのも良いと思う。
- 委員 3R運動の徹底がごみ減量につながると思う。なんでもごみ袋に入れるのではなく、ごみの分別とごみの減量についての意識を市民にもってもらえるのか大事です。
- 委員 不法投棄で電化製品が多い。また、規定外の人間のモラルをはずれたものが多すぎる。それをどのよう徹底していければ良いか。それと指定ごみ袋になんでもいれれば良いと

いう考えを変えるために、私達、ごみ減量市民会議委員だけでなく、市民全体で考えていければごみ減量につながると思う。

6. その他

- ①次回の会議は、日時 10月30日（水）13時30分～、
場所 太田市清掃センター3F厚生室
- ②毎月の会議は、週の水曜日におこなうものとする。